



2010年10月29日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号： 4875 大証 JASDAQ
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号： 03-3519-5010
E-mail： info@medicinova.com

米国胸部専門医学会年次総会への

ポスタープレゼンテーションによる参加のお知らせ

2010年10月28日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ(MediciNova,Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) は、カナダのバンクーバーで行われる米国胸部専門医学会の年次総会において、静注による、高度な選択性を持つβ2アドレナリン・リセプター作動薬 MN-221 について、7つのポスタープレゼンテーションを予定していることをご知らせします。これらのプレゼンテーションは、喘息の急性発作及び COPD 治療における有効性を評価している当社の MN-221 の開発に関するものです。当社が提出したポスタープレゼンテーションがすべて採用され、今回の総会で紹介される予定です。また、総会終了後、当社のホームページにアクセスしてポスターをご覧くださいことができます。

ポスタープレゼンテーションは、以下のとおりに予定されています。

11月2日(火) 12:45—14:00 (太平洋夏時間)

- ・(治験番号)MN-221-CL-005： 安定期にある中等度から重度の喘息患者を対象とする、MN-221 (ベドラドリン) の投与速度の比較 (ポスター#143)
- ・ MN-221-CL-006： 重度の喘息急性発作患者を対象として、標準療法と併用して MN-221 を静脈内投与した後の入院率の減少及び肺機能の改善 (ポスター#144)
- ・ MN-221-CL-004： 軽度から中等度の喘息患者を対象とした MN-221 の静脈内投与における評価 (ポスター#145)

- ・喘息の急性発作と適応とする MN-221 の薬物動態及び薬力学モデリング及びシミュレーション (ポスター#146)
- ・ MN-221FY08-065 : 犬における、吸入アルブテロールとの併用時の MN-221 の静脈内投与の心臓血管系への影響 (ポスター#147)

11月3日(水) 12:45-14:00 (太平洋夏時間)

- ・急性 COPD を適応とする MN-221 の薬物動態及び薬力学 (ポスター#685)
- ・MN-221-CL-010 : 安定期にある中等度から重度の COPD 患者を対象とする、MN-221 の静脈内投与による肺機能の改善 (ポスター#686)

【MN-221 とは】

MN-221 は、キッセイ薬品工業株式会社が創製した、高い選択性を有する β_2 アドレナリン・レセプター作動薬です。生体内外における前臨床試験では、喘息の急性発作治療を目的とする他の β_2 アドレナリン・レセプター作動薬に比してより高い選択性が確認されております。MN-221 の β_1 アドレナリン・レセプター作動薬としての心臓に対する作用が限定的であることとともに、従来の選択性の低い β_2 アドレナリン・レセプター作動薬の問題点である心臓への刺激作用が低減しつつ、気管支拡張効果を持つ可能性があると考えられています。また、当社は、静注方法による MN-221 の開発をしておりますが、この投与方法の優れた点は、発作によって狭められた気道を経由せず、有効濃度の薬剤を経静脈的に速やかに肺に届けることができることです。

上記の前臨床データに加え、投与後のベースラインからの FEV_1 の平均変化量の増加(肺機能改善の客観的な指標)が見出されました。先ごろ完了した喘息の急性発作患者を対象とするフェーズ 2 臨床試験(治験番号 MN-221-CL-006)のデータによれば、標準治療だけを受けた患者群との比較において、標準治療に加えて、合計 $240 \mu g$ から $1,200 \mu g$ 超の MN-221 の投与を受けた患者群で、 FEV_1 が改善し、入院率が低下し、さらに、臨床的に重大な副作用もないことが明らかになりました。当社は、キッセイ薬品より日本を除く全世界における MN-221 の開発および販売について独占的なライセンスを取得し、開発を進めており、ライセンスにより取得したデータには、広範な前臨床試験データおよび臨床試験による安全性データが含まれております。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする6つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする2つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及びCOPDの治療薬MN-221と多発性硬化症、慢性疼痛、脊椎損傷及び薬物依存の治療薬イブジラスト (MN-166/AV411) との2つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。現在MN-221とイブジラストのプログラムに関しては、それぞれ米国治験許可申請のもとで現在臨床試験を行いながら、今後のさらなる開発の準備として、戦略的な提携関係を構築することを模索しております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては<http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。